

令和7年度 第1回「生徒による授業アンケート」について（報告）

本校の教育活動につきましては、日頃よりご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび令和7年7月に第1回の「生徒による授業アンケート」を実施いたしました。第1回の結果を踏まえ、授業改善への手立てを検討し、各教科で授業の質の向上に取り組んでおります。

つきましては、各教科のアンケート集計分析結果及び授業改善への取組の概要をご覧いただき、ご質問やご意見などがありましたら、ご連絡くださるようお願いいたします。

1. 集計対象の科目（一部略称あり）

教科名	科目名		教科名	科目名	
国語	論理国語	古典探究	芸術	音楽Ⅱ*3	書道Ⅱ*3
地歴公民	地理総合*2 世界史探究*3	歴史総合*1 公共*3	外国語	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅰ*3
数学	数学Ⅱ	数学B*3	家庭	家庭基礎	保育基礎*3
理科	物理*3 生物基礎*3	生物*3 化学基礎	情報	情報Ⅰ*2	
保健体育	体育*1	体育*2 保健			
	スポーツ総合演習*1	スポーツ概論*1 スポーツ文化*3			

*1 スポーツ科学科のみの科目 *2 普通科のみの科目 *3 選択科目 を展開している科目

2. 質問及び選択肢の一覧

分類	質問	略称
授業のあり方	1 教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。	理解度
	2 毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。	ねらい・ふりかえり
	3 授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをおして、自分の考えを広げ深める機会がある。	思考の機会
	4 授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。	まとめ・解決の機会
学習の状況	5 先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	意欲的態度
	6 予習、復習をしっかりとっている。	予習・復習
	7 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。	成長実感
	8 授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。	思考の実践
	9 授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。	まとめ・解決の実践
	10 授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。	既習事項とのかかわり
	11 家庭学習を習慣化している。	家庭学習

否定的 1 ほとんどあてはまらない 2 あまりあてはまらない 3 ほぼあてはまる 4 かなりあてはまる 肯定的

問合せ先
副校長 吉垣 武
電話 046-241-8001

3. 各教科の回答割合（一覽）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		理解度	ねらい・ふりかえり	思考の機会	まとめ・解決の機会	意欲の態度	予習・復習	成長実感	思考の実践	まとめ・解決の実践	既習事項とのかわり	家庭学習
国語	1	4%	3%	4%	4%	3%	19%	6%	3%	4%	4%	27%
	2	15%	14%	13%	11%	9%	30%	17%	14%	14%	16%	28%
	3	45%	41%	43%	48%	48%	31%	49%	50%	53%	49%	30%
	4	36%	43%	39%	37%	40%	19%	28%	33%	29%	31%	16%
	一	18%	17%	17%	15%	12%	49%	23%	17%	18%	19%	54%
	+	82%	83%	83%	85%	88%	51%	77%	83%	82%	81%	46%
地歴公民	1	1%	1%	2%	2%	0%	15%	1%	1%	2%	1%	27%
	2	6%	10%	10%	9%	8%	27%	9%	10%	10%	7%	27%
	3	48%	43%	42%	46%	50%	37%	55%	49%	53%	56%	30%
	4	45%	46%	46%	44%	42%	21%	35%	39%	35%	36%	15%
	一	7%	11%	13%	10%	8%	42%	10%	11%	12%	8%	55%
	+	93%	89%	87%	90%	92%	58%	90%	89%	88%	92%	45%
数学	1	5%	4%	7%	4%	4%	17%	5%	7%	5%	3%	23%
	2	17%	23%	26%	19%	15%	30%	17%	20%	20%	12%	31%
	3	52%	45%	45%	48%	51%	37%	53%	53%	51%	59%	32%
	4	25%	28%	22%	29%	30%	17%	25%	21%	24%	25%	14%
	一	22%	27%	33%	23%	19%	46%	22%	26%	25%	16%	54%
	+	78%	73%	67%	77%	81%	54%	78%	74%	75%	84%	46%
理科	1	1%	0%	1%	0%	1%	13%	1%	0%	1%	1%	19%
	2	5%	8%	7%	7%	10%	29%	7%	9%	11%	10%	32%
	3	49%	50%	51%	53%	52%	41%	56%	55%	52%	55%	33%
	4	45%	41%	41%	40%	38%	17%	36%	35%	35%	35%	16%
	一	6%	8%	8%	7%	11%	42%	8%	10%	12%	11%	51%
	+	94%	92%	92%	93%	89%	58%	92%	90%	88%	89%	49%
保健体育	1	2%	2%	3%	1%	1%	21%	1%	3%	2%	1%	29%
	2	5%	6%	7%	6%	6%	22%	6%	7%	8%	7%	25%
	3	50%	50%	48%	49%	51%	37%	53%	52%	51%	53%	31%
	4	43%	42%	42%	43%	42%	20%	40%	38%	39%	38%	15%
	一	7%	8%	10%	7%	7%	49%	7%	10%	10%	9%	54%
	+	93%	92%	90%	93%	93%	57%	93%	90%	90%	91%	46%
芸術	1	2%	2%	5%	5%	5%	20%	0%	5%	7%	2%	23%
	2	2%	5%	5%	7%	0%	11%	5%	7%	0%	2%	9%
	3	57%	55%	59%	57%	61%	45%	55%	57%	64%	59%	50%
	4	39%	39%	32%	32%	34%	23%	41%	32%	30%	36%	18%
	一	5%	7%	9%	11%	5%	32%	5%	11%	7%	5%	32%
	+	95%	93%	91%	89%	95%	68%	95%	89%	93%	95%	68%
外国語	1	2%	1%	1%	2%	1%	14%	1%	0%	0%	0%	21%
	2	9%	8%	4%	10%	8%	29%	11%	13%	13%	12%	35%
	3	57%	54%	56%	55%	58%	40%	61%	58%	58%	59%	34%
	4	32%	37%	40%	33%	36%	17%	27%	29%	30%	30%	11%
	一	11%	9%	4%	12%	9%	43%	12%	13%	13%	12%	56%
	+	89%	91%	96%	88%	91%	57%	88%	87%	87%	88%	44%
家庭	1	2%	2%	2%	2%	1%	24%	2%	2%	3%	2%	31%
	2	6%	7%	8%	7%	9%	25%	9%	8%	10%	8%	27%
	3	54%	58%	55%	57%	56%	35%	59%	59%	55%	59%	31%
	4	38%	33%	34%	34%	34%	16%	30%	31%	32%	32%	11%
	一	8%	9%	10%	9%	10%	49%	11%	10%	13%	9%	58%
	+	92%	91%	90%	91%	90%	51%	89%	90%	87%	91%	42%
情報	1	2%	5%	9%	5%	4%	31%	5%	9%	5%	4%	40%
	2	17%	15%	18%	17%	16%	26%	11%	15%	17%	16%	25%
	3	53%	54%	50%	57%	53%	33%	57%	55%	57%	57%	26%
	4	28%	26%	23%	21%	27%	10%	26%	21%	21%	23%	9%
	一	20%	20%	27%	22%	20%	57%	16%	24%	22%	20%	65%
	+	80%	80%	73%	78%	80%	43%	84%	76%	78%	80%	35%

4. 各教科の集計分析及び授業改善案

教科	集計分析	授業改善
国語	古典探究・論理国語ともに、授業のあり方の「理解度に合わせた授業」「狙いの確認と振り返りの機会」「自分の考えの共有」の項目で肯定的な回答が多い結果となった。この結果から、授業内においては、自身の考えを共有したり、目標を踏まえて自身の学びを振り返る姿勢が身についていると考えられる。その一方、予習復習や家庭学習については、否定的な回答が多く見られた。今後は、生徒の興味・関心をひけるような授業を展開し、授業内容と関連する事前課題や復習課題を与え、家庭でも主体的に学習する手立てを考え、身につけた力を定着・発展させることが必要であると考えられる。	授業外でも生徒が意欲的に取り組むことができるような授業内容に関連する事前課題を与える。また、クロームブックなどの ICT 教材を活用した課題を与え、家庭での学習も主体的に行えるような工夫をする。 国語への興味・関心、学習内容の理解を深めるため、探究課題や他教科と連携・横断した単元の設定の工夫や、グループワークを用いた、主体的・対話的で深い学びを実現する。
地歴公民	地歴公民ともに、＜予習・復習＞＜家庭学習＞の項目に否定的回答が多かった。また、それ以外の項目については比較的肯定的回答が多く、特に「授業のあり方について」の3項目は高い水準で評価されている。	生活に関係のある題材設定や問いかけをおこなうことで、生徒が身近な様々な事象・事柄に疑問や関心を持ち、知的好奇心を育めるよう指導する。 プリントやクロームブックなどを利用した課題追究型の活動を取り入れることで、授業外の様々な事象に興味を持つよう促す。
数学	予習や復習、家庭学習の否定的回答が多く、勉強の方法がわからない場合も考えられる。	家庭学習に取り組めるような課題の指示や声掛けを行う。
理科	授業のあり方に関してはどの科目も肯定的回答を多く得ているが、各科目で以下の項目について否定的回答が多かった。生物基礎では「理解度」の項目で否定的回答が約17%であった。物理では「ねらい・ふりかえり」の項目で否定的回答が約16%であった。化学基礎では「まとめ・解決の機会」の項目で否定的回答が約7%であった。生物では、「ねらい・振り返り」の項目で否定的回答が7%であった。 学習の状況については、どの科目も「予習・復習」や「家庭学習」が例年と同様、否定的な回答の数値が高い。	授業のあり方に関して各科目で次のように改善する。生物基礎では、教材作成を工夫しまとめと課題解決の機会を設けていく。物理では、内容的に専門性が高い部分について丁寧な指導に取り組む。化学基礎では、より興味関心を引き出す工夫する。生物では、定期試験の前後で単元を振り返り、ねらいを確認する機会を設ける。 学習状況に関しては、学習内容をより深められるような課題を工夫し、発表やレポート、小テストなどを通じて学習習慣を定着させる。また、理科においては日頃から自然現象に関心を持ち、他教科との関連性を意識することが予習であり、家庭学習となることを周知する。
保健体育	スポーツ科学のスポーツ概論では、肯定的な回答が約80%占めているが、その中でも、まとめ・解決の機会の項目が97%と顕著に肯定的な回答であった。スポーツ総合演習、スポーツライフマネジメントに関しても同様な数値となっているが、特に意欲的態度の項目で顕著に肯定的な回答を得ることができた。スポーツⅡに関しては、意欲的態度、成長実感の項目で100%の肯定的な回答を得ることができた。普通科の体育に関しても平均して約90%の肯定的な回答であったが、共通して予習・復習、家庭学習の回答が約半数が否定的な回答であり、課題を抱えている。 保健に関しては予習・復習、家庭学習の項目を除いた項目で90%を超える肯定的な回答を得た。中でも、思考の機会が95%であった。	スポーツ科学、普通科に共通して、生徒自身が映像を確認することで自らの動きを客観的に把握し、考え、実践するサイクルを意識的に行った。結果的に意欲的態度にも肯定的な影響が表れ、生徒の成長実感などにつなげることができたため、今後も継続していきたい。 予習・復習、家庭学習の項目に関しては昨年度同様に課題を感じている。映像を授業時間のみならず、家庭でも確認して、次の目標設定につなげるなどの工夫を行っている。
芸術	授業のあり方についての項目は、肯定的回答が多くみられる。しかし、「予習・復習」、「家庭学習」の項目では他の項目よりも否定的回答が多くみられる。	電子データ、音源、動画等の教材を活用し、生徒が振り返りやすい環境を整備する。また、学習内容を授業外の場所でも生かすことができるよう、生徒が課題を自ら発見する機会を作りたい。

外国語	「教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている」が肯定的回答が半数を超えており、生徒の習熟度に合わせた授業が行われていることがうかがえる。その一方で、「予習・復習をしっかりとっている」という質問に対しては否定的回答が40%を超えている。このことから授業の中においても家庭学習の習慣を付け、生徒が自発的に学習に取り組めるよう、取り組んでいく必要がある。	英語学習に対して目標を持たせ、積極的に英語学習に取り組めるようにするため、授業内で家庭学習を行えるような声掛けを行うことや授業で成長したと思えるような活動を取り入れる工夫が必要である。
家庭	＜家庭学習＞や＜予習・復習＞の項目については「否定的回答」が半数以上であった。その他の項目については「肯定的回答」が多かったがほぼあてはまるの回答が多かったので改善が必要である。＜理解度＞、＜既習事項とのかかわり＞の項目については、「肯定的回答」が多いため継続していきたい。	授業で生徒にねらいを伝え、単元の終わりにどのような力が身につけられたか振り返りを行う。自ら学ぼうする意識づけができるようにするために、生活や自分事として結びつけられるように教材を工夫する。主体的、対話的な授業づくりを心がけ＜思考の機会＞を得られるようにする。実技試験や単元テスト等を取り入れることで＜予習・復習＞につなげ、＜意欲的態度＞や＜成長実感＞を高められるようにする。
情報	「身についたことを実感できた」と「取り組みやすく理解度に合わせた授業」の項目が比較的に高く、実習を中心とした授業としては良い方向であると感じた。「予習・復習をしている」、「思考の機会」の項目は比較的に低い。	生徒に興味を持たせる、学ぶ意欲をもたせるような授業を考えていきたい。1回の授業の中で、理解をするポイントがはっきりしており、身についたことの実感できる授業を目標とする。詰め込みすぎて理解するポイントが多すぎるのは避けたい。

※紙面の都合上、質問内容については〈略称〉を用いて表記しています。

分類	質問	略称
授業のあり方	1 教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。	理解度
	2 毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。	ねらい・ふりかえり
	3 授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをおして、自分の考えを広げ深める機会がある。	思考の機会
	4 授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。	まとめ・解決の機会
学習の状況	5 先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	意欲的態度
	6 予習、復習をしっかりとっている。	予習・復習
	7 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。	成長実感
	8 授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。	思考の実践
	9 授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。	まとめ・解決の実践
	10 授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。	既習事項とのかかわり
	11 家庭学習を習慣化している。	家庭学習の習慣化